

三見小中だより



萩市立三見小・中学校
平成29年1月31日発行
文責：校長 宮木 剛

新しい年を迎えて

少し遅くなりましたが、新年明けましておめでとうございます。この平成29年(酉年)が皆様にとりまして輝かしい1年となりますことを、心よりご祈念申し上げます。



酉年の酉(とり)は鶏(にわとり)のことを指し、「果実が極限まで熟した状態、酒熟して気が漏れる状態」に由来しているそうです。「酉」という漢字は、元々酒つぼを描いたもので、「酒熟して・・・」の意味等から酉の字があてられたそうです。酉は「取り込む」に繋がり、「運氣やお客を取り込める」ということで昔から商売繁盛に繋がるとされてきました。また、「果実が極限まで熟した状態」から、学問や習い事等で長い間の

努力が成果となって表れることも期待できる年だそうです。さらに、大空を飛ばたく鳥にちなんで「飛躍の年」となるように自分自身を磨きたいものです。

3学期は年度のまとめの時期になります。夢や希望をいっぱいもって進級・入学してから10ヶ月が過ぎ、それぞれの学年で学習や行事、当番や係活動などに一生懸命取り組むことを通して、子どもたちは大きく成長してきました。

自分の目標をしっかり持ち、自分のペースでがんばっている姿を見ることはとても嬉しいものです。でも、目標をもつことは簡単ですが、それに向かって努力を続けることははるかに難しいことです。折に触れて自分を振り返り、できるようになったことと、まだ努力が必要なことを掴むことが大切だと思います。

中学3年生は、私立の受験が終わりました。これから、公立の受検に向かって、もう一踏ん張りしてもらわなければなりません。「あと1ヶ月しかない」と考えるか、「あと1ヶ月ある」と考えるか、前向きな気持ちで取り組んでほしいと思います。

さて、1月11日に書き初め大会を行いました。そもそも書き初めとは、年が明けて初めて毛筆で書や絵をかく行事のことです。一般的には1月2日に行われることが多いようです。吉書(きっしょ)、試筆(しひつ)、初硯(はつすずり)、筆始(ふではじめ)などとも言われます。元々は宮中で行われていた儀式だったようで、若水(元日の朝に初めて汲む水)で墨を摺り、恵方に向かって詩歌を書く習慣があったそうです。



それが、江戸時代以降庶民にも広まり、現在も受け継がれているわけです。子どもたちには、伝統的な行事や慣習などの由来にも関心をもってほしいと思います。

1月の様子



生徒会新執行部が、スローガンを発表しました。新しいことにもどんどんチャレンジしてほしいものです。



小中合同の委員会活動です。本校の特色でもありますが、中学生のやり方が小学生の参考になり、より高度な活動に繋がり、小学生がいることで、中学生の活動にも気合いが入ります。



萩市民駅伝大会に、中学生チームとPTAチームが出場しました。中学生は、女子が2名入っているにもかかわらず、良い成績でした。

2月行事予定

- 6日 (月) なわとび大会 (小)
- 7日 (火) 一日入学 (小)
百人一首大会 (中)
- 8日 (水) 小中合同全校集会
公立高校推薦入試
- 10日 (金) 漢字検定
- 14日 (火) 参観日 学級懇談会
1 / 2 成人式・立志式
P 役員会・専門部会
- 16日 (木) 身体測定
- 17日 (金) 地域ふれあい給食
中テスト発表
教育相談 (~ 23日)
- 21日 (火) クラブ活動 (小)
- 23日 (木) 第5回学校運営協議会
- 24日 (金) 中期末テスト①
バイキング給食
- 27日 (月) 中期末テスト②
- 28日 (火) 入学説明会 (中)



月1回実施している「地域ふれあい給食」です。今回は、三見婦人会の方4名と、駐在所の大本さんが来られました。大本さんには、小学生に、警察の道具や仕事についてのお話をさせていただきました。



研究授業です。中2理科に小学校教員が個別指導に入るなど、小・中協働で学力向上に取り組んでいます。